

# メディア懇談会のご案内

## 民族滅亡へ駆り立てる“てんぷら”和食 — 産業界・行政・栄養学者は責任をとれるか —

植物油脂が加工食品に増え、その摂取量が増えるにつれて心と体の病気が増え、出生率が減って人口減少への道を転がりはじめた。植物油脂と民族滅亡との因果関係はどこまで明らかとなっているのであろうか。第196国会に提出された植物油脂の摂取に関連する4本の質問主意書と政府答弁書、さらに再質問主意書と政府答弁書を資料として、脂質栄養学の第一人者にご説明いただきます。

配布資料：4件についての質問主意書・答弁書と再質問主意書・答弁書 全60ページ

- ・牛乳に関する質問主意書・答弁書と再質問主意書・答弁書
- ・育児用粉ミルクに関する質問主意書・答弁書と再質問主意書・答弁書
- ・植物油脂の安全性に関する質問主意書・答弁書と再質問主意書・答弁書
- ・コレステロール値と疾病に関する質問主意書・答弁書と再質問主意書・答弁書

◎ 参加者には、説明に使用される主要なパワーポイントをプリントして配布します。

講師：奥山治美 先生（名古屋市立大学名誉教授 金城学院大学客員研究員

NGO 日本食品油脂安全性協議会理事長）

2018年10月1日（月）午後1時30分～午後3時

主婦会館プラザエフ3階（東京都千代田区六番町15）

参加申込：9月25日（金）午後5時（資料作成のため事前申し込みを！）

主催：NPO 法人 食品安全グローバルネットワーク（担当：中村幹雄）

連絡先：〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目2-12 CSビル3階

FAX 06-6305-8614 e-mail mikio@nakamura.in 携帯電話 090-3280-4181